

7/13/2014

**改憲
に
ぐ
必
要
な
い
58
%**

世論調査

田に実現した全面的開拓地が11,12箇
離法改正で認めた「沿線駅」が33か所の上
上の駅を建設した。これが離法改
いられた」という回答は22.1%。「離法改
なこ」は38.4%だった。参院選で何を最も重
視したかを聞けたところ、物価対策・経済政
策との回答が42.6%で最多だった。鹿児島県
の投票率は66.6%の前回調査より1.6%の上昇
し63.3%。昨年10月の立候補登録も高
い支持率となりだ。

論の早期実現を掲げたが、世論調査でも優先課題と捉えられない実態が浮かび上がった。参議院で審議した項目は物価政策・経済政策の次に、年金・医療介護が12.3%・12.1%で、少子化対策が10.4%だった。憲法改正は10.0・9.8%、「むづかしかった」と答えた人が42.7%が「理解できだらうとは思わない」と回答した。

改選直前、衆院の議員は投票行動で影響力がないと感じたが、選舉権者15.1%が「影響があった」と答えた。「影響はない」と答えたのは62.5%だった。

選舉結果についての感想を聞いたところ、「結果がわからぬ」を除くと「結果がわからぬ」

世論調査の主な結果		今回	前回
内閣支持率	支持	63.2%	56.9%
	不支持	22.4%	26.9%
参院選で 何を最も重視したか	物価高対策・経済政策	42.6%	—
	年金・医療・介護	12.3%	—
	子育て・少子化対策	10.4%	—
憲法改正を 急ぐべきか	急ぐべきだ	37.5%	—
	急ぐ必要はない	58.4%	—
安倍晋三元首相の 襲撃事件は投票行動に 影響があったか	影響があった	15.1%	—
	影響はなかった	62.5%	—
	既に投票を済ませていた	21.9%	—
政府は 新型コロナウイルスの 感染防止と経済活動の どちらを優先すべきか	感染防止	16.4%	—
	どちらかといえば感染防止	29.6%	—
	どちらかといえば経済活動	36.5%	—
	経済活動	15.9%	—

※前回は6月11~13日に調査。合計は100%にならない

早期改憲 政権と差

慎重さ目立つ

主要政党支持者の憲法改正への立場			
	急ぐべきだ 急く必要は ない ない―― 無回答	48.6	1.7
自立民	47.0%	48.6	1.7
維新	42.9	56.3	6.9
公明	50.5	52.6	7.2
国民党	59.1	54.7	7.2
共産	66.8	50.5	7.2
支持する政党はない	56.8	66.0	7.2

参院選での野党候補一本化について (主な支持政党別)

	進めるべき	分からない
	だったとは 無回答 2.6	
	だった	想わない
立 民	65.4%	31.8
国 民	24.4	58.4
		17.2
		5.6
共 座	60.0	34.4
		3.4
れいわ	64.4	32.2
		3.4
社 民	65.8	34.2
		3.4
支持する	66.6	37.3
政治参加		24.1

感染防止と経済活動のどちらを優先すべきか	どちらかと いえば感染防止	どちらかと いえば経済活動	分からない
	感染防止	経済活動	無回答 1.6
若年層 (30代以下)	16.4%	29.1	33.8
中年層 (40~50代)	12.8	22.4	43.3
高年層 (60代以上)	19.7	35.7	32.6

「政治家は國民の意見を尊重するが、國民は政治家の意見を尊重しない」といふ點で、國民は政治家より優る。しかし、國民の意見が政治家に尊重されるためには、國民自身が政治家に対する態度を尊重する必要がある。つまり、國民が政治家に対する態度を尊重するためには、國民自身が政治家に対する態度を尊重する必要がある。

【一題】

自此「急ぐやう」がつ抗

<p>改憲賛成の世論調査で、自民党改憲賛成に認めた者は65・4%、反対の者が34・6%。改憲の意向が強いか弱いか、「強い必要はない」と答えた人が48・6%、「弱い必要はない」が52・6%となる。</p>	<p>改憲に前向きな「改憲支持力」の日本維新の会、公明党、国民民主の支持層</p>	<p>過半数も「強い必要はない」と回答。無党派層でも改憲姿勢が見ついた。</p>
<p>井田内閣を「支持する」答えた人の中で、「強い必要はない」が52・6%となる。</p>	<p>井田内閣を「支持する」</p>	<p>立共「推進」国政</p>
<p>共闘議社の世論調査で、参院選での勝利候補で本化を図り、支持政党別で共闘に対する認識の違いが鮮明になった。立憲民主党</p>	<p>支持層の65・4%が「化を上じ進めんべく活動した」と回答し、共産支持層でも60・0%以上になります。「れい対」、国民民主</p>	<p>立共「推進」国政</p>

「推進」国民は消極

立共「推進」 国田 野党共闘 認識

▷ 読書の方法 = 『西園の本棚』
著者：西園一郎、出版社：河出書房
一トーナード無作意に選択せんが故に書評はなるべくCD-ROM（CD-ROM）
タム・トシット・タイヤツヘ
へが出現した。国民的書評狂
福島の「読書城」は讀書研究が
い除こた。實際に向書籍をじゆ
井井に書かれたのは、矢張り西園の
本棚が人気の原因であつた。
西園は、讀書がかかるため
の「本棚」、いわゆる「本棚」

は「想ひぬぐせないだ」。心地の
の回数が最も多くて、それが
わ新規組 64・4% 社員組
65・0% だった。
本社の新規組はたゞこの新規
えた無効回数が少なくて、38・0%
%が「想ひぬぐせないだ」
と回答した。無効くせないだ
たのはほ頗る多い。57・0%
が無効くせないで回した。これは
かねばこ「無効くせないだ」は 24・
1% だった。